

MICE 市場トピックス（2月）

毎月、海外の複数市場について、JNTO 海外事務所が収集した MICE 関連の状況やトピックスをご紹介します。

- ① **MICE 関連の旅行会社や関係団体の動向**
- ② **MICE 関連の訪日意欲の有無・変化**
- ③ **イベント開催の有無とその感染症対策**
- ④ **その他の特記すべきトピックス、ニュース**（特筆する情報がない場合は、当該番号に「なし」と記載しています。）

本情報の転送や媒体掲載はご遠慮ください。※2021年2月末時点の情報です。

【韓国市場】

- ① ソウル事務所からインセンティブ旅行を主催する複数企業へヒアリングしたところ、2020年は海外インセンティブ旅行を中止し、国内ツアーやホテルでのセレモニー（授賞式や会食）、バウチャーの提供に切り替えたが、現在は現金支給やオンラインでの行事実施に加え、「済州島エアー+ホテル+レンタカー2泊3日ツアー」等の個別に旅行できるプログラムの提供が主流となっている。2021年下半年から2022年にかけて、海外インセンティブ旅行が実施できることを期待し、2021年下半年の海外インセンティブ旅行のプログラムの準備をすでに始め、回復後はすぐに実施できるようにしたいと考えている企業もある。行先はハワイやグアム等のリゾート地が検討されている。
- ② インセンティブ取扱旅行会社では、2022年には海外インセンティブ旅行が実施可能と考え、2022年に日本で開催される瀬戸内国際芸術祭への訪問を組み込んだ訪日商品も検討している。
- ③ 展示と国際会議関連の団体が、政府に対してコロナに関する防疫措置の変更を求めている。韓国の防疫対策である「社会的距離確保レベル」は、2.5段階の場合、デパートは入場規制もなく通常営業が可能だが、展示とコンベンションについては、16㎡あたり1人までという入場制限がある。昨年全国で開かれた288件の展示・博覧会ではコロナの2次感染が1件も発生しなかったことから、百貨店と同じ防疫基準の適用を求めている。
- ④ なし

【中国市場（上海事務所管轄エリア）】

- ① 国内向けの MICE は動いているものの、海外向けの MICE は依然活動が止まっている。
- ② なし
- ③ 3月に蘇州で開催予定だった日系ショッピングモールでのイベントが、市政府からの許可が下りず5月に延期となった。一方、重慶のショッピングモールでのイベントは予定通り3月に開催予定。現在は、地域によりイベントの開催可否が異なる状況となっている。
- ④ タイ国政府コンベンション&エキシビションビューロー（TCEB）は、中国市場向けに「タイはあなたを愛している」という新しいインセンティブ施策を実施し、ポストコロナにおけるタイへの誘致を図る。本施策は、タイで3泊以上宿泊することで、500~999人の団体は20万バーツ、1000~1999人の団体は50万バーツ、2000人以上の団体は150万バーツの補助金を受けられる。現在、タイ国内での MICE イベントの人数制限は300人以下となっているが、ほとんどの施設やホテルはすでに TCEB の安全・健康認証を得ている。各国のワクチン接種の状況を鑑み、2021年第3四半期からはワクチン接種済みの国際観光客の入国を想定した「ウエルカムバック・トゥ・タイ計画」を開始予定。

【タイ市場】

- ① タイ国内において年末に新型コロナウイルスの感染が再拡大したが、その後、感染が沈静化したことで、タイ政府は各種行動

規制を緩和、感染第二波により急上昇したタイ社会の緊張感は2月末日時点でほぼ感染第二波前の水準に戻りつつある。4月の連休ソングランの国内旅行回復について旅行業界は期待している。

Thailand Convention and Exhibition Bureau (TCEB) は、2月24日～25日に、Thailand MICE Virtual Expo を開催した。Virtual business matching、ウェビナー等で構成されるオンラインイベントで、約3千人が参加した。

- ② 2月11日にバンコク事務所が実施した現地旅行会社向けのウェビナーにおいて、「インセンティブツアー造成に役立つ情報」をテーマに、JNTOのMICEウェブサイト等のリソース、JNTOやコンベンションビューローからの支援メニュー、バンコク事務所が新たに運用を始めた現地旅行会社向けBtoBウェブサイトの内容について紹介した。ウェビナーはリアルタイムで81名が視聴し大変好評であった。
- ③ 2月18日～28日の期間、バンコクの高級ショッピングモール Siam Paragon で、Siam Paragon Thailand Luxurious Vacation Fair が開催され、63の国際級のホテルが出展した。3月4日～7日には、タイの国内旅行フェアである第58回 Thai Tiew Thai Fair が Bitec Bangna で開催される。
- ④ タイ国内において、各国政府観光局は次のようなプロモーションを展開している。
 - ・韓国観光公社は、旅行会社を通じて、バンコクでできる韓国文化体験（韓国料理体験、K-pop ダンスクラス、韓国風化粧クラス等）の1日券の販売を行っている。
 - ・シンガポール政府観光局は、2月26日～4月30日の期間でコンテンツクリエイターコンテストを開催中。以前訪れたシンガポールの見どころ等の写真や動画をSNSチャンネルで拡散すると、マライオンの大型ぬいぐるみがもらえる。このほか、“I Roam Alone”や“Asa Papailong”といったタイの有名ブロガーによる、過去にシンガポールで撮影した動画を使用して魅力的な動画制作方法を指南するオンライン講座も実施している。
 - ・台湾観光協会は、CLUBHOUSE アプリ上にて、タイ人職員が台北夜市の案内を行うなど、音声での観光情報発信を行っている。

【オーストラリア市場】

- ① 3月15日～17日にハイブリッドでの開催予定であった The Asia Pacific Incentives and Meetings Event (AIME2021) については、2022年3月に延期となることが発表された。

また、豪州政府の雇用維持を目的とした支援金制度 (Jobkeeper) が3月末をもって終了することになっており、1月から支援金が削減されており、観光・旅行関連企業ではスタッフの削減、オフィスの移転などを行いながら営業を継続しているが、今後3月末以降の動向に注視が必要である。
- ② なし
- ③ なし
- ④ シドニー事務所主催で、3月に現地旅行会社等を対象にオンラインセミナーを2回実施する。インセンティブ旅行目的地としての日本の紹介、日本側セラーによるプレゼンテーション、日本側セラーと現地バイヤーの自由商談が行われる。事前にバイヤーへ日本のお茶セットを送付しており、茶道の資格を持つ現地職員がオンラインでお点前を披露し、一緒に体験してもらう等のアクティビティも実施する。また、JR東日本の「四季島」やチームラボの「borderless」の写真を使用し、日本のMICEに関する記事広告を実施した。



【オンラインセミナーへの誘引バナー】



【記事広告】

【記事広告】

https://www.cimbusinessesevents.com.au/new-ideas-start-here-japan/?goal=0_cfaa913906-701f46d5f1-153709105

転載禁止 (©JNTO)

<JNTO 担当部署> MICE プロモーション部 TEL : 03-5369-6015 E-mail : convention@jnto.go.jp